

陳情審査結果

受理番号1

○総務産業建設委員長報告

「塩谷高等学校跡地を日々輝学園高等学校へ貸与する条件として施設に宿泊機能を有しないことを求める陳情」ですが、現在研修・学習での町内各宿泊施設の利用度は非常に大きく、経営に大きな影響を及ぼすことは必至です。で、全会一致で採択しました。

受理番号2

○教育福祉常任委員長報告

「子どもの連れ去りや引き離しを禁止し、親子の面会交流に関する国内法の整備を求める意見書」の提出を求める陳情ですが、この陳情に係る国際法のハーグ条約加盟について国の動向をみてからという意見もありましたが、国内法の整備を求める内容となっていることなどにより、賛成多数で採択しました。



未来を担う子どもたちを不幸にしないために、以下の三点を強く要望し、連れ去り、引き離しを禁止する法整備に関する意見書を、衆参両議長、内閣総理大臣、法務大臣、厚生労働大臣へ提出しました。

- (1) 悪意ある連れ去り引き離しを児童虐待の定義に加え、法的な歯止めをかけることを求める。
- (2) どちらの親がより相手方に友好的であるか、面会交流に積極的であるかを比較する友好親優先則の導入を求める。
- (3) 養育費や面会交流の詳細を定めた、養育プラン作成の義務化と、相談、支援制度の整備をすすめることを求める。

議会を 傍聴しましょう

議会の傍聴は、町政を知り、皆さんの選んだ議員の議会活動を理解するよい機会です。



編集後記

一抹の寂しさを感じるのは、春が別れと出会いの季節といわれるからだろうか。新たな出会いに期待をしようと思う。

春秋戦国時代の中国、楚の人が舟で揚子江を渡っていた時、刀を落としてしまった。舟に印を付けて「ここから落ちた」と言って捜したが見つからなかった。舟が動いていることに気付かない、つまり時が流れていることに気付かないという話だが、時代とともに、人の考えも価値観も変化するという事を肝に銘じなければならぬと思う。ただし世の中には変わってはいけないものも沢山あると思っているのだが。

君嶋 恒夫